

ポールペン

人は皆ちたう 同じ人はいない

それはわかたれた

ちたうのは人たかたない

物も目的は同じでも 同じでない

長い間 7デベルを保つていた

紙面が手本つくとは 7デベルの色が しょうかり

ついで 紙面がよどれた

ポールペンの かんざいといふ おうと思つて

いた

それは 思うよろに いかん

ポールペンは 指の力を大おるのと

文字にちがう

ポールペンは ちがうた

と見ていた

ある時 ほんの金色のポールペンを 保つて

みた

大又天に 思つたように 文字をおかす

ちかうポールペンの ちかいてみる

やはりの ちかいてみる

ゆゑに力をいれども

紙白く字ぬえて素直

人と同じさうに

ホイルでまぢ木にがさる

金巻のホイルで

今や何をかくも

このホイルでまぢと

たすすいかにていさ

くぶろのち木いと同じ

ホイルでまぢち木にかさる

まぢくおや金巻のホイルで

和紙とて工印存ホイルで

2024  
6/4